

第3章

文京区地域福祉活動計画がめざすもの

1 計画の基本理念と基本目標

計画の基本理念

地域には、子育て中の親やひとり親、障害のある方やその家族、高齢者、子どもの孤立や不登校、ひきこもりとその家族、8050問題、ダブルケア、必要な福祉の情報が届かないなど、「社会的孤立」の課題があります。そのような「社会的孤立」の状況が長く続くと、課題がより深刻化してしまいます。

課題の深刻化を防ぐためには、本人が適切な主体や制度につながることが大切です。深刻化してからすぐに相談することや、制度につながることは難しいので、普段から信頼できる人とつながっておき、周囲の人が状況を早期に発見できるようにしておくことが重要となります。そのためには、その人の状況に合わせたつながりがもてるような仕組みづくりが必要となります。

このような人々の現状や課題を踏まえ、これまでの取組をさらに充実・発展させるために、地域住民同士がまず顔見知りになり（知り合い）、自分のこと・困りごとなどを人に伝え（伝え）、聞いた人に伝わり（伝わり）、^{ひろ}寛容な心で受け止め（心を^{ひろ}寬げ）、住民同士や多様な活動団体などとのつながりをもつことで（つながりをもつ）、制度・分野ごとの「縦割り」や「支援する」「支援される」という関係を超えて「お互いさま」で助けあう気持ちが醸成されるまち（「お互いさま」が生まれるまち）を目指し、基本理念の改定を行いました。

知り合い、伝え・伝わり、心を^{ひろ}寬げ、
つながりをもつことで
「お互いさま」が生まれるまち

計画の基本目標

基本理念を実現するために3つの基本目標を定め、取組を進めていきます。

基本目標 1

地域のつながりを大切にした取組が広がっている

地域には、孤独を感じながら生活していて何らかの課題を抱えている人、家族や地域から孤立している人、自分から声をあげることが困難な人などがあります。これらの人々が相談したいと思ったときに、人や情報、場につながれることが必要です。

具体的には、人から人へと必要な情報が伝わり、日頃から顔の見える関係ができるまちづくりとして、みまもり体制を構築すること、徒步圏内で人と知り合い、気軽に集えるサロンなどの場が増えること、また課題発見や相談対応などができる機能をもつ多機能な居場所が増えることを目指します。

基本目標 2

多様な主体が地域活動に参加し、連携している

個人、企業、NPOなどの多様な主体が地域活動に参加することで、活動に参加しようとする人の選択肢が広がり、新規の活動者が増え、地域活動が活発になります。また、主体同士が連携することによって様々な地域課題を解決する可能性が広がります。

具体的には、今まで地域活動に関心がなかったり、興味はあっても様々な理由により活動に結びついていない人・主体に地域活動への参加のきっかけづくりをすること、地域に必要な活動を継続・発展させること、多様な主体同士の連携を促進することを目指します。

基本目標 3

生活課題がありながらも、地域で自分らしく暮らせる人が増えている

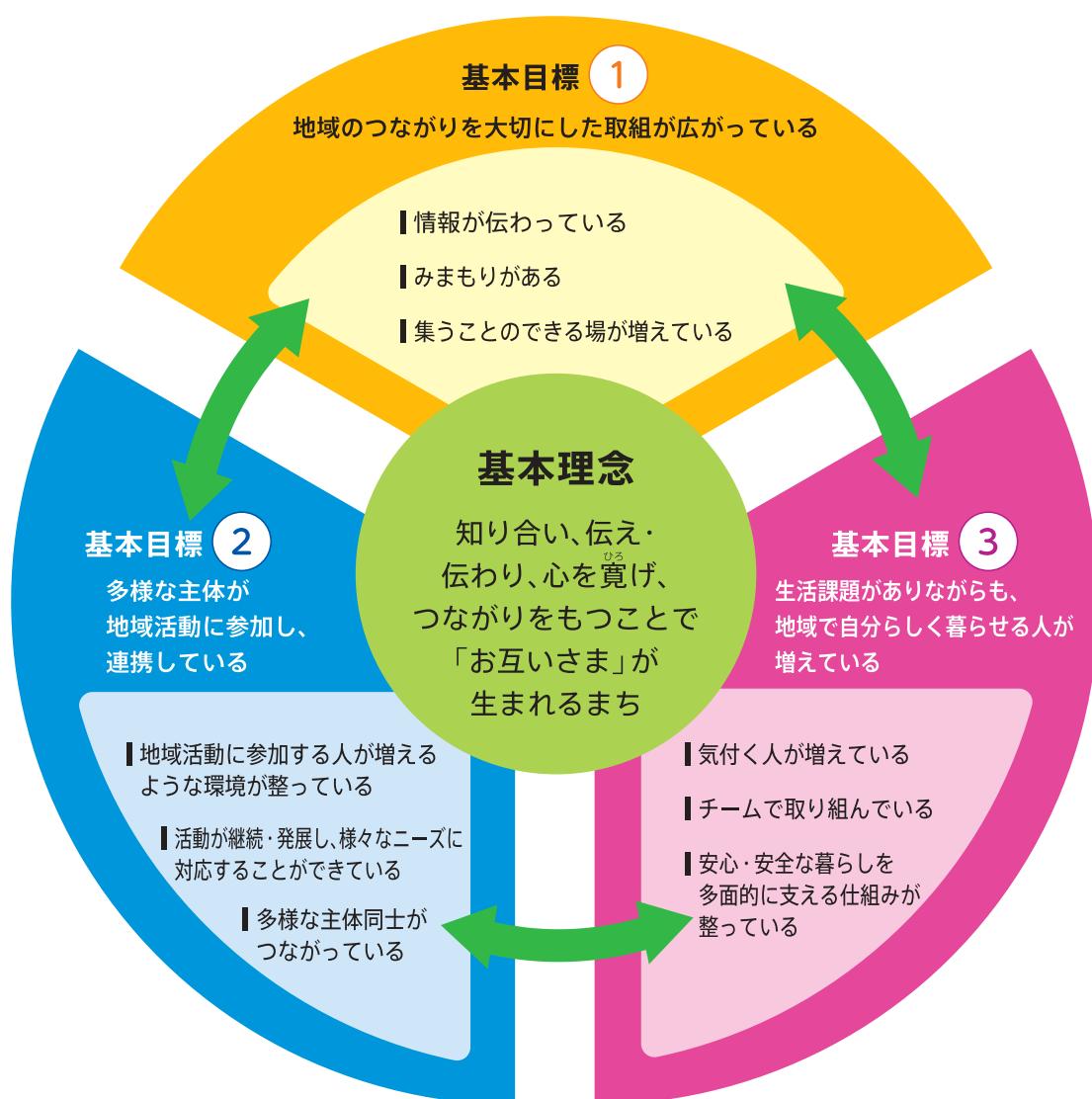
現在、地域の中で様々な生活課題がある人を受け止め、できるかぎりその暮らしをサポートしていくための地域の取組が必要とされています。

具体的には、身近な地域に多様な課題を抱えた人に気付くことができる人が増えること、課題を見つけた際にチームを作って受け止める体制づくりを行うこと、また、制度の狭間にあるニーズに対応するために、困っていることを伝えることが困難な人をみまもり、共感し、代弁する取組を検討し、多面的に支える仕組みを整えることを目指します。

基本理念と基本目標の関係性のイメージ

P.43で示された基本目標は、それぞれに独立しているわけではなく、また特定の順序で行われるものでもありません。基本理念で示されたまちの姿の実現に向け、それぞれの基本目標が結びつき、循環しあう関係にあります。

基本目標1は、身近な地域での活動であり、基本目標2は、活動する組織・人材の視点、基本目標3は、様々な課題にチームで取り組むことが示されています。それぞれが連携しながらネットワークを作り、有機的につながっていることを表しています。



課題から導き出した基本理念と基本目標

課題

家族の形やライフスタイルの変容などにより、人と人とのつながりが希薄になっている。また、人は生活状況の変化などにより、様々な課題を抱えることがあり、その際に、つながりが希薄であると、適切な支援を受けることや、支援者につながること、またその気持ちに寄り添い助けあえるような関係が形成しにくくなる。

課題
1

地域には様々な理由で孤立している人がいるため、早期からつながる仕組みが必要

課題
2

地域のニーズは多様しており、家族や制度だけでは支えきれない時代なので、地域での多様な主体による活動への参加が必要

課題
3

地域だけでも専門職・公的機関だけでも対応が難しい生活課題があるため、地域で生活課題に気付くことや、地域と専門職・公的機関の連携が必要

基本理念と基本目標

知り合い、伝え・伝わり、
心を^{ひろ}寬げ、
つながりをもつことで
「お互いさま」が生まれるまち

基本目標
1

地域のつながりを大切にした取組が広がっている

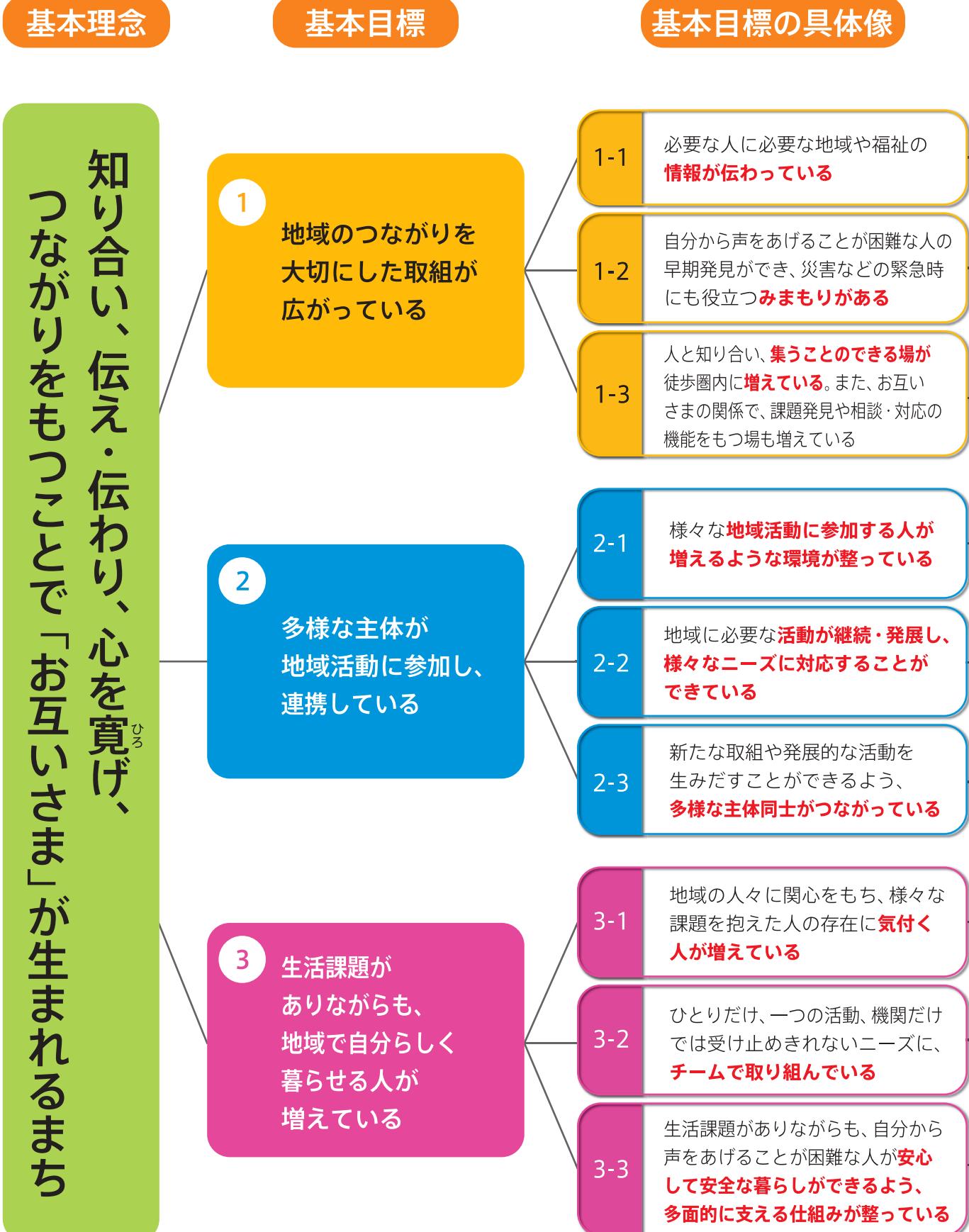
基本目標
2

多様な主体が地域活動に参加し、連携している

基本目標
3

生活課題がありながらも、地域で自分らしく暮らせる人が増えている

2 計画の体系



地域住民、地域で活動する人・団体は

地域住民、民生委員・児童委員、町会・自治会、高齢者クラブ、商店街、PTAなど

特定のテーマをもって活動する人・団体は

ボランティア・NPO団体、福祉関係団体、教育機関、企業など

専門職や公的機関は

社会福祉法人、福祉サービス事業所、高齢者あんしん相談センター、障害者基幹相談支援センター、医療機関、弁護士・司法書士などの専門職、行政・公的機関など

社会福祉協議会は

身近な地域の暮らしのなかで、お互いに気にかけながら、情報交換したり、それぞれの立場からのみまもりやちょっとした手助けなどを行います。

活動のなかで必要としている人に情報が届くようにします。また、活動を通じて地域とつながり、活動のテーマと合う地域の活動に参加します。

専門性を活かし、地域住民の活動を多方面からサポートします。

住民主体の取組をサポートとともに、地域の様々な活動をコーディネートします。また、平時から地域住民や関係機関との連携を推進することで、災害時にも対応するための環境や仕組みの構築に取り組みます。

地域活動に興味・関心をもち、担い手として活動します。

様々な分野の取組を推進するとともに活動を広報し、活動参加のきっかけづくりや他の団体との連携を図ります。

地域の活動や社会資源などの情報に関心をもち、多様な個人や団体と連携します。

地域のなかで活躍できる人材の育成や、新たな参加や連携を生み出す仕組みづくりを行います。

困っていることや気付いたことなどがあれば、周囲の支援者や関係機関、文社協などにつなげ連携しながら地域活動に参加します。

活動を通じて見えてきた課題を関係機関や文社協につなげるとともに、それぞれの活動の中で必要な取組を行います。

地域にある生活課題への理解が広がり、深まるよう、地域住民や関係機関、文社協と連携します。また、福祉学習や、地域活動のサポート等を通じて普及啓発に取り組み、地域のニーズを多様なルートを通じて把握し政策へ反映します。

様々な課題を抱えた人たちが発信しやすく、理解を深めあうことのできる場をコーディネートします。また、地域住民や関係機関と連携することで、既存の制度では対応することが困難な課題解決に向けた仕組みづくりに取り組むとともに、政策立案のための情報提供(政策提言)を行います。

3 基本目標の具体像の実現に向けた取組

基本目標1 地域のつながりを大切にした取組が広がっている

1-1 必要な人に必要な地域や福祉の情報が伝わっている

地域の取組や福祉サービスなどの情報が必要な人に届くように、電子媒体や紙媒体だけでなく、人と人とのつながりを通して、情報を届ける取組を行います。

「かよい～の」っていう取組を地域でやってるってCATVで見たんだけど…どうやって参加したらいいのかな。行ったことのないところに行くのは不安だし…



近所に住むAさんが立ち話の時に「かよい～の」について教えてくれた



実際に参加して私も楽しかった。今度Bさんにもいい活動だと教えてあげよう。



地域の取組例

民生委員・児童委員や高齢者クラブなど、様々な人が地域の情報や福祉情報を近隣の方に届けています。

文社協の重点的な取組

インフォーマルな地域資源情報が共有されることで、必要な人に必要な情報が届くような仕組みづくりを行います。(例：地域資源マップ)

高齢者クラブの友愛活動による情報交換の様子

1-2 自分から声をあげることが困難な人の早期発見ができ、災害などの緊急時にも役立つ みまもりがある

課題が深刻化する前に、誰かが“気付く”ことで、早めに近隣や地域の活動、関係機関などとつながることが大切です。そのためにも、日ごろからお互いを気にかけ合い、顔の見える関係を築くための取組を行います。

ひとり暮らしで、足が悪くて、車いすを利用しているんだけど、近所に友人もいないから、大きな地震があったとき、避難できるかとても心配。



民生委員・児童委員のCさんが、心配ごとに気付き、地域の「見守り隊」につなげてくれた



これからは、「見守り隊」の人々が来てくれて、安心！見守り隊が周知に困っていたから、今度は私が得意なパソコンでチラシを作つてみよう。



表町町会での「見守り隊」活動

地域の取組例

表町町会では、地域住民、民生委員・児童委員、警察、高齢者あんしん相談センター、文社協などがチームとなって、地域で希望された方のみまもり訪問を行っています。

文社協の重点的な取組

区内のみまもり活動の事例発表の場やみまもりについて学ぶ場を開催することで、みまもり活動の開始に参加している人を支援するとともに新たに参加する人を増やします。(例：みまもりフォーラム)

1-3 人と知り合い、集うことのできる場が徒歩圏内に増えている。また、お互いさまの関係で、課題発見や相談・対応の機能をもつ場も増えている

行きたいと思った時に気軽に参加できるサロンや、課題の発見や相談・対応ができる多機能な居場所を増やしていく。

ひとり暮らしで、友人に誘われて通い始めたサロン。でも怪我をしてしまって、サロンにも買い物にも行けてないわ。



暫く休んでいたら、Dさんが心配して、訪問



たくさんおしゃべりして、Dさんは困っていた買い物にも行ってくれたわ。今度は私が、Dさんに何かお返ししたいなあ。



だんだんひろばのコミュニティカフェ

地域の取組例

だんだんひろばでは、地域住民が気軽に参加できるように、子育てサロン、介護予防体操、こども食堂、コミュニティカフェなど様々なプログラムを実施しています。

文社協の重点的な取組

様々な形の居場所づくりの支援を行います。(多機能な居場所を4地区の日常生活圏域に9か所整備)

基本目標2 多様な主体が地域活動に参加し、連携している

2-1 様々な地域活動に参加する人が増えるような環境が整っている

身近な地域での課題に興味をもち、何かアクションしたいと思う人（特に高齢の男性や、退職直後の方など）が地域での活動に参加しやすい環境を整え、それぞれの活動の対象に合わせて広報などを行います。

定年退職して、時間が空いたなあ。
空いた時間にできることって何かあるかなあ…



区設掲示板で見かけたボランティア支援センターに問い合わせてみた



いろいろな講座や活動があるみたい。なかには資格がとれるものもあって、これまで自分がやったことないことに挑戦できそう。



千駄木サポーターズ

地域の取組例

千駄木三丁目北町会の千駄木サポーターズでは、街歩き×ごみ拾いなど、気軽な形で参加できるイベントを行っています。地域のこどもから学生、若者も気軽に参加してもらうことで、町会へ入るきっかけづくりを行っています。

文社協の重点的な取組

ホームページやSNS、文社協だよりなど様々な媒体を活用して文社協だけでなく地域の参加しやすい活動の情報提供も行っています。

2-2 地域に必要な活動が継続・発展し、様々なニーズに対応することができている

既存や新規の活動が、継続・発展し、地域で課題解決力を持つことでより安心した生活を送れる人が増えるように、活動者それぞれのスキルアップや団体の運営支援を行います。

文社協の「いきいきサービス」と「ファミリー・サポート・センター」で、産褥期のお母さんの家事やお子さんの送迎のお手伝いをしたときに「孤育て」という言葉を初めて知りました。

ヘルパーや保育士の資格はないけれど、地域の子育てをしている若い人たちへ、もっと踏み込んだサポートをすることはできないでしょうか？



ささえあいサポート係に相談してみた



区内には子ども食堂や子育てサロンなど多様な子育て支援団体があること、それらの立上げをサポートする助成制度があること、国の「子育て支援員制度」を活用した「文京区子育てサポート認定制度研修」でスキルアップを目指せることもわかりました。



サブリーダーによる拠点での説明会の様子

地域の取組例

文京区子育てサポート認定制度研修の受講をきっかけに、子育て支援拠点のスタッフを始めたり、拠点で行われているファミリー・サポート・センター依頼会員登録説明会をサブリーダー(提供会員の地区代表)として担当しています。

文社協の重点的な取組

活動者のニーズにあったスキルアップの機会を提供するとともに、他の団体で行っているセミナー等の情報提供や活動者同士の交流や情報交換が行えるような場を提供します。

2-3 新たな取組や発展的な活動を生みだすことができるよう、多様な主体同士がつながっている

ひとつの活動だけでは受け止めきれない課題があったり、さらに活動を幅広く発展させていくためには別の活動と連携・情報交換することが重要となってくるため、多様な主体同士の連携を促進し、地域課題と地域資源を結びつける体制を整えます。

私が行っている不登校児を支援する活動について、地域の課題や他団体との連携について知りたいです。



地域福祉コーディネーターの情報提供で、フミコムに相談



フミコムに相談したら、地域内外で同様の取組をしている団体を紹介してもらい、その団体のイベントに参加することで、思い同じにする方々との新たなつながりが生まれました。



子ども若者の孤立防止のため行政の担当部署との連携会議の様子

地域の取組例

不登校など孤立する子どもの支援を行うNPO法人サンカクシャは、行政の専門機関、地域の居場所運営者、大学で心理学を教える教員などと連携しながら活動を行っています。(コラムP.55参照)

文社協の重点的な取組

地域課題と地域資源を結びつける新たな取組の体制を整えます。(例 Bチャレ(提案公募型協働事業))

基本目標3 生活課題がありながらも、地域で自分らしく暮らせる人が増えている

3-1 地域の人々に关心をもち、様々な課題を抱えた人の存在に気付く人が増えている

地域住民が、身近な地域に障害がある人、様々な課題を抱えた人がいることに気付き、関心と理解する気持ちがはぐくまれるように、専門職や関係機関・公的機関は、地域での福祉学習や地域活動のサポート等を通じて、普及啓発に取り組みます。

障害者施設で働いている職員です。地域の方たちと施設の夏祭り以外交流がなくて。何かいい交流の方法はないかな？



文社協に相談し、交流を希望する地域の小学校を紹介してもらった

小学校からの依頼は、「バリアフリーのことについて教えてほしい、障害がある方と交流をしたい」とのこと、交流も含めた福祉学習を行いました。それをきっかけに、小学生の方から利用者さんに挨拶をしてくれるようになって、利用者さんたちも喜んでいます。



文京ささえ隊による福祉学習

地域の取組例

サービス介助士の資格を取った区民が「文京ささえ隊」として地域の中で「気付く人」を増やすために、学校や企業、イベントで、福祉学習や車椅子体験等を行い、地域住民の障害等への理解が深まるよう取り組んでいます。

文社協の重点的な取組

様々な課題を抱えた人たちが自分のことを発信し、受け入れられるような社会づくりを目指すプログラムを開発していきます。（例 福祉学習の改善）

3-2 ひとりだけ、一つの活動、機関だけでは受け止めきれないニーズに、チームで取り組んでいる

地域住民や専門職、関係機関・公的機関がお互いに顔の見える関係となり、様々な主体の連携・協働ができる体制整備をします。

私は、足が悪くて、体調も悪い。犬を1匹飼っているんだけど、お金もない。家の中も、足の踏み場がないくらい散らかっちゃって、もうどうすればいいか、自分でもわからない。



近所の人が「隣に住むFさんの家のごみ屋敷のようで心配」と民生委員・児童委員さんに連絡し、文社協と民生委員・児童委員さんが家まで来てくれた。



文社協の人が、高齢者あんしん相談センターや区役所、ボランティアさんなど、自分に必要な人につなげてくれて、本当に助かりました。家の片づけを手伝ってくれた近所のGさんに誘われた居場所に、今度行ってみようかな。



関係機関との連携会議

地域の取組例

文社協の重点的な取組

上記Fさんの事例では、地域住民、ボランティア、高齢者あんしん相談センター、区役所、福祉サービス事業所、文社協などが連携して、ひとりの方のサポートにチームで取り組んでいます。

多機関が連携し、ひとつの機関では解決が難しい課題も解決できるようなサポート体制を整備します。
(例：成年後見制度利用促進に係る中核機関)

3-3 生活課題がありながらも、自分から声をあげることが困難な人が安心して安全な暮らしができるよう、多面的に支える仕組みが整っている

様々な主体が連携・協働し、制度の狭間にあるニーズに対応できるよう、困りごとを発することが困難な人をみまもり、共感し、代弁します。そして、新たな取組を検討し、政策などに反映できるよう、多面的に支える仕組みを整えます。

ひとり暮らしで、親族もいない。認知症になったり、入院したり、亡くなったりは、一体だれが気にかけてくれるのだろう。



Hさんが居場所で友人にこんな相談をして
いたら、文社協の人が話を聞いてくれた



文社協の人から、「Hさんだけでなく、他にも同じ悩みを抱えている人がいるの。何か検討できないかいろいろ考えてみる」とお返事をいただき、数年後、「文京ユアストーリー」という事業ができた。元気なうちに備えをしておいて、亡くなったあとのことまで一貫的にサポートしてくれるシステムなの。ほんとよかったわ。ありがとう。



文京ユアストーリー

地域の取組例

文社協の重点的な取組

上記Hさんの事例のように、地域の一人ひとりの声やニーズが周囲の支援者や関係機関、文社協につながることで、一つの仕組みができるきっかけになっています。

制度の狭間の新たな課題に対して、切れ目ない総合的な支援の仕組みづくりを推進します。
(例 文京ユアストーリー)

神明西部町会見守り隊

活動日：毎月1回（土曜日10:30～）

メンバー：町会長、民生委員・児童委員、町会女性部・防災部、弁護士、警察

訪問宅：避難行動要支援者名簿にて町会、民生委員・児童委員が把握している高齢者

前回の地域福祉活動計画作成時に、駒込地区町会役員を対象とするアンケートで、「文社協に求めるサポート」で要望が多かった「みまもり体制や企画のアドバイス」を実施するため、駒込地区町会連合会エリアで町会と民生委員・児童委員向けの勉強会を開催しました。

その結果、個人情報やマンションのオートロックなどについて課題とは感じているものの、それでも顔見知りとなることの重要さや、災害時に備えてみまもりをする必要を感じている町会が複数あることが分かりました。その中で、特に関心の高かった神明西部町会と会議を重ね、「見守り隊」を発足することになりました。避難行動要支援者名簿を活用し、希望する方のところへ、月1回訪問する取組です。

見守り隊は、町会関係者だけでなく、民生委員・児童委員や弁護士、警察など複数の主体と連携するチームを作つて取組を進めています。訪問の際には、町会も参加し、町会連合会で取り組んでいる居場所づくりのチラシを渡しており、実際にこの訪問をきっかけに居場所に訪ねて来られた人もいました。

いまのところ、手を挙げた人はみまもりやサポートをされる仕組みですが、活動を続ける中で、名簿に載っていなくても、様子が気になる人の家にも訪問し、徐々に独自のみまもり名簿を作れたら、との意見も出ています。

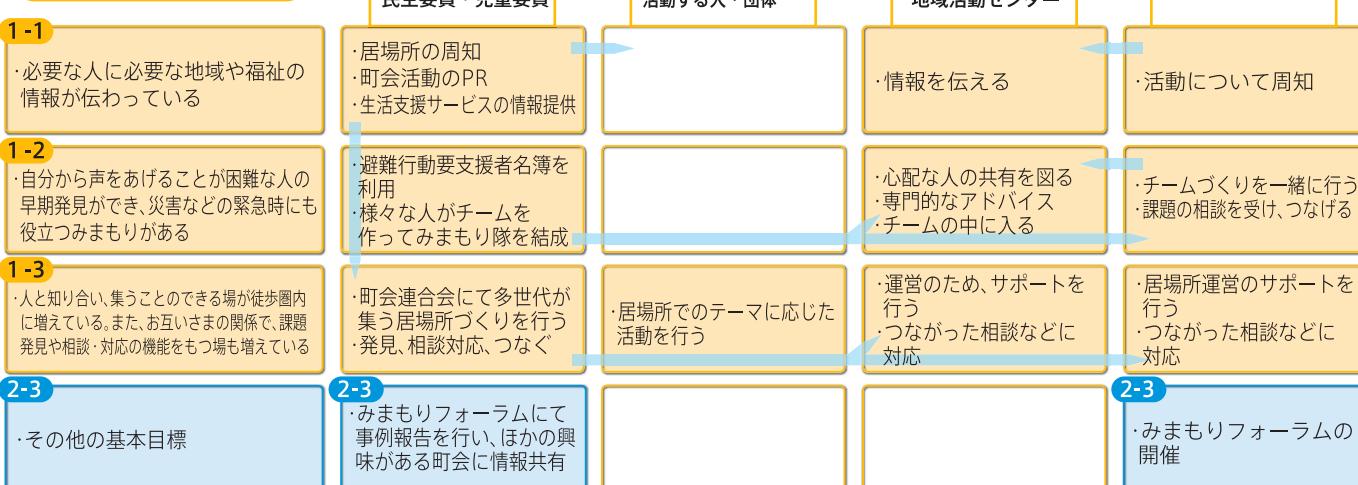


出発前に打合せ



防犯パトロールの上着を着て訪問

それぞれの動き(抜粋)



行政とNPOの協働による子ども若者支援

区外で不登校等の子ども若者を支援するNPOがBチャレ（提案公募型協働事業）を通じて行政やその他さまざまな主体と協働し、区内での活動を展開

中高生の不登校や、中学校卒業後に孤立しがちで支援につながりにくい子ども・若者に関する相談は、これまで地域福祉コーディネーターのもとに入っています。地域福祉コーディネーターが個別支援で対応していました。

フミコムが設置され、Bチャレがスタートしてから、地域福祉コーディネーターとフミコムの間で課題が共有され、フミコムでつながりのあった不登校支援を行っているNPOに声をかけて、情報交換を行いました。

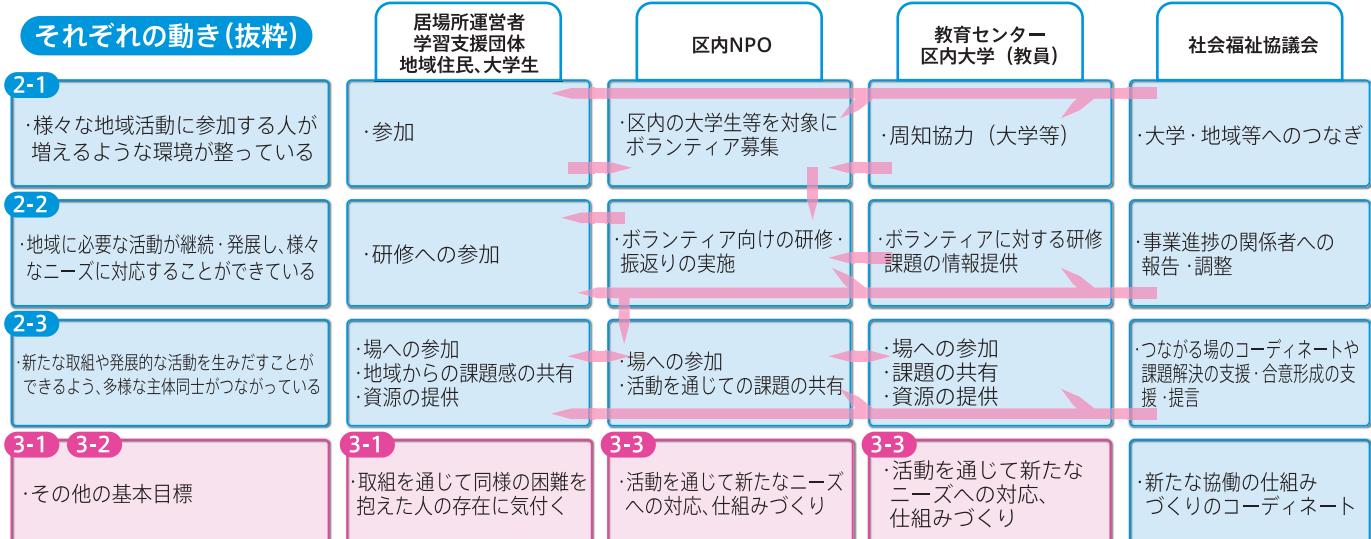
同時に、区の教育センターに働きかけて行政機関としての課題感のヒアリングを行い、NPOの行っている活動について情報提供を行いました。

後に、Bチャレの課題解決部門の課題として行政から不登校の問題があがったため、当該NPOにBチャレについて情報提供をしました。また、地域の居場所づくりや子どもに関わる活動をしている人たちと情報共有の機会をもったり、地域の居場所を訪問するなど交流を行い、地域で課題感の共有を行うとともに多様な主体で課題解決に向けて取組を行う機運を醸成していきました。

Bチャレの助成が決定した後は、NPOが区内の大学生を含むボランティアを育成し、教育センター等から紹介を受けた不登校等の子ども・若者の家庭訪問や居場所での支援を行っており、今まで相談対応や支援が難しかった子どもを受け入れ始めています。



▲ゲームなど子どもの好きなこと、やってみたいことに合わせてボランティアが丁寧にコミュニケーションをとりながら関係をつくっていきます



ネットワークで対応した個人支援

70代男性 独居 頼れる親族なし(甥姪とは疎遠)

「町会費の支払いが滞っている人がいる。以前はこのようなことはなかったが、最近姿を見かけず足も悪いようで心配。」という相談が文社協の地域福祉コーディネーターに寄せられました。この町会でのサロン型のみまもり活動の立上げで顔見知りになった役員からの相談でした。

高齢者あんしん相談センターの職員と共に訪問しましたが、本人は支援拒否をしており「何も困っていない」と頑なな態度でした。すぐに公的なサービスや、制度を使うことが難しい状況だったので、近隣、高齢者あんしん相談センター、民生委員・児童委員、区の高齢福祉課、文社協で本人のみまもりを行っていくことになりました。



暫くして、郵便局から通帳を持たずに何度も窓口に来て困っている様子の人がいるとの情報提供があり、本人だと分かりました。民生委員・児童委員と共に訪問すると、家はごみが溜まった状態で、本人の物忘れも激しく、財布や通帳、鍵が見つからない様子でしたが、支援については拒否的でした。その後も何度も訪問しましたが、関わりを拒否されていました。



みまもりを続けていたところ、郵便局から「本人が困っていそうだ」という情報提供があり、高齢者あんしん相談センターと、区の高齢福祉課とともに家に入ることができました。そして、通帳を探しながらごみを片付け、ごみの中から通帳を見つけることができました。

その後も生活を支えるため、ごみ出しは、民生委員・児童委員や地元の町会に協力してもらうことができました。また、高齢福祉課や医療関係者と相談しながら様々な制度を利用し、地域のみまもりも続いたため、本人が倒れた時にも迅速に対応することができました。

それぞれの動き(抜粋)	地域住民、地元商店、民生委員・児童委員	郵便局	高齢者あんしん相談センター・高齢福祉課 往診医・成年後見人	社会福祉協議会
3-1 ・地域の人々に关心をもち、様々な課題を抱えた人の存在に気付く人が増えている	・心配な人の発見 ・イベントへ誘う ・気にかける	・心配な人の発見		
3-2 ・ひとりだけ、一つの活動、機関だけでは受け止めきれないニーズに、チームで取り組んでいる	・発見した人のことを相談 ・みまもり ・ごみの処理	・発見した人のことを相談 ・みまもり	・相談を受ける ・訪問 ・みまもり ・緊急時の対応	・相談を受ける ・訪問 ・みまもり
3-3 ・生活課題がありながらも、自分から声をあげることが困難な人が安心して安全な暮らしができるよう、多面的に支える仕組みが整っている			・認知症初期集中チームの導入 ・生活支援	・成年後見人の検討 ・緊急事務管理 ・生活支援
1-3 ・その他の基本目標	1-3 ・拠点型のみまもりを行う(サロンの運営)			

4 圏域について

計画での位置づけ

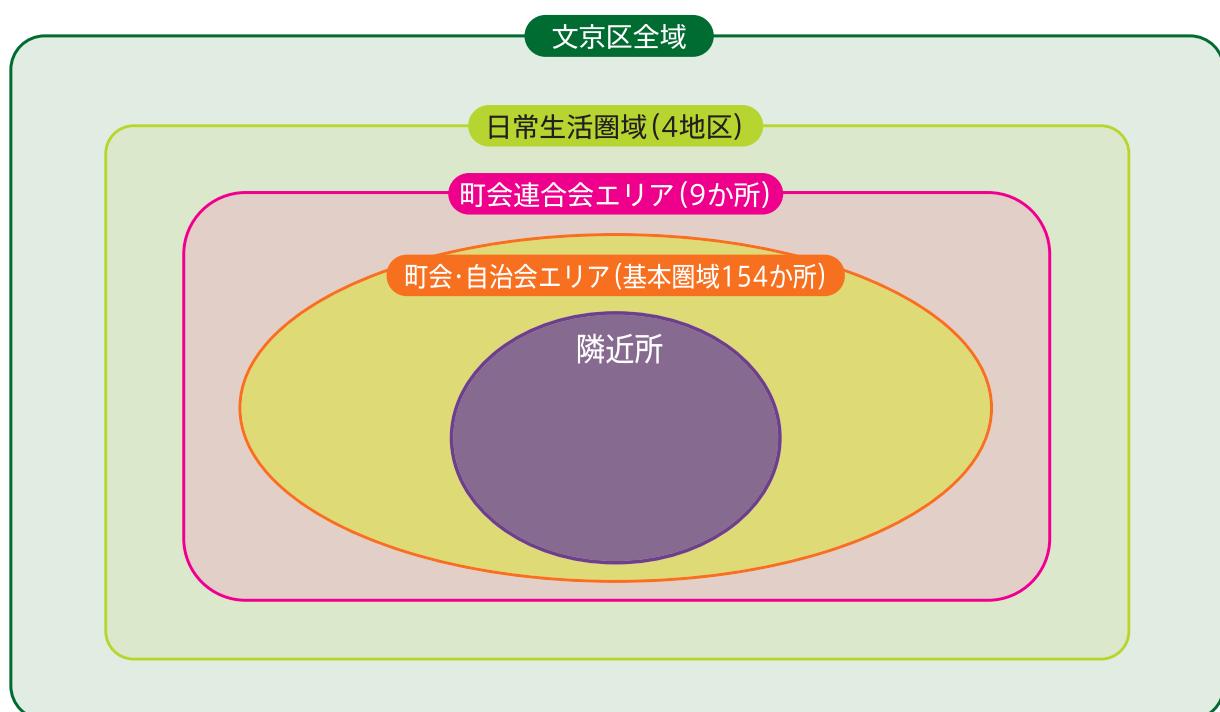
国が提起した「地域共生社会の実現」では、「住民に身近な圏域」において、地域住民が主体的に地域生活課題を把握し解決に取り組むための環境の整備が大切だとされています。また、『東京都地域福祉支援計画』（平成30年3月）や東京都社会福祉協議会『東京らしい“地域共生社会づくり”のあり方について（最終まとめ）』（平成31年3月）でも、具体的な圏域設定と関係する機関や団体、また圏域間をつなぐ機能が例示されています。

さらに、このような圏域の設定については、それぞれの区市町村域の歴史的・地理的な条件や地域の資源、住民生活の実態に即して設定することが重要だとされています。

これまでの文京区地域福祉活動計画でも、最も身近な隣近所を基本としながら、活動主体や活動内容などに応じて、「町会・自治会エリア」「町会連合会エリア」「日常生活圏域」「文京区全域」という4つの重層的な圏域を設定し、それぞれの圏域に見合った取組を推進とともに、圏域の枠組みを越えた取組が必要な場合は、圏域間の情報共有と連携を図りながら柔軟な対応をしてきました。

この計画の圏域設定においても、以上の考え方を基本にして、この計画の体系で述べた3つの基本目標と取組が、それぞれの圏域の特徴を生かして有機的に実現することを目指します。

圏域のイメージ図



圏域の概要

エリア	圏域の概要	主な地域活動	この圏域で活動している 地域団体・機関(例)
隣近所 (地域の実情や交流状況に応じた緩やかな捉え方)	隣近所の顔の見えるつきあいは、地域福祉の最も基本的な土台となるもの	隣近所の顔が見え、あいさつや近隣掃除など適度のつきあい、日常的なみまもり	――――――
町会・自治会エリア (基本圏域・154か所)	地域で暮らす住民以外には把握しにくかったり、身近でなければ取り組みにくい生活課題に対応できるように、住民の暮らしに密着し、地域の課題を発見・共有しやすい範囲	日常的な集まりやみまもり・助け合い活動等	町会・自治会 高齢者クラブ
町会連合会エリア (9か所)	各地域活動センターの管轄地域であり、町会連合会、青少年健全育成会が日常的に活動している圏域	町会・自治会等の地域活動団体による基本圏域よりも広域的な活動	青少年健全育成会 地域活動センター
日常生活圏域 (4地区)	民生委員・児童委員協議会や、高齢者クラブ連合会と同一の地区区分であるとともに、高齢者あんしん相談センターの担当圏域であり、警察署管轄地域とも一致	日常生活圏域をベースとして各関係機関・団体等とのネットワーク化を図り、公的サービス・支援とも結びつけることで、基本圏域における小地域福祉活動を包括的に支援	民生委員・児童委員協議会 話し合い員連絡協議会 地区高齢者クラブ連合会 高齢者あんしん相談センター 地域生活支援拠点 地域福祉コーディネーター 警察署
文京区全域	多機関が協働した総合的な支援体制が整備されるなど、区内全域に及ぶ広域の生活圏域	テーマ・課題別の全域を対象とした広域的な活動	ボランティア・市民活動 企業、大学 障害者基幹相談支援センター 子ども家庭支援センター

富坂地区の現状と取組概要

令和元年10月1日現在

富坂地区	後楽	1~2丁目全域					
	春日	1丁目全域、2丁目1~7番、9~26番					
	小石川	1~4丁目全域、5丁目1~4番、8~17番、20~41番					
	白山	1丁目1番、2番、5~8番、11~14番、16~22番、30~37番、2~5丁目全域					
	千石	1~4丁目全域					
	水道	1丁目1番、2番、11番、12番					
	小日向	4丁目1~2番					
	大塚	3丁目 31~44番、4丁目1番、2番(6~14)、3番(5~11)、4番(1~3)					
	西片	1丁目19番					
	本駒込	2丁目9番(7~17)、10~11番、29番、6丁目1~12番					
基礎データ	総人口	71,907人	面 積	3.299km ²			
	高齢者人口	13,428人	高齢化率	18.7%			
	要支援認定者数	567人	要支援認定率	4.2%			
	要介護認定者数	1,789人	要介護認定率	13.3%			
	町会・自治会	45団体 P.61参照	民生委員・児童委員	42人			
	高齢者クラブ	15団体(854人) P.61参照					
社会資源	高齢者関連	高齢者あんしん相談センター富坂、高齢者あんしん相談センター富坂分室、特別養護老人ホーム洛和ヴィラ文京春日、特別養護老人ホーム文京白山の郷、文京白山高齢者在宅サービスセンター					
	障害者関連	小石川福祉作業所、は～と・ピア2・abeam(アビーム)、工房わかぎり、就労移行支援ヘルーフ、JoBridge(ジョブリッジ) 飯田橋、文京地域生活支援センターあかり、富坂子どもの家、未来教室、エデュクエスト					
	子ども・青少年関連	子育てひろば千石(児童青少年課)、子ども家庭支援センター、認可保育所24か所、児童館4か所、育成室13か所、小規模保育園2か所、家庭的保育事業2か所					
	その他	礫川地域活動センター、大原地域活動センター、保健サービスセンター					
	常設の居場所	風のやすみば、さきちゃんち					
	ふれあいいきいきサロン (対象別)	(高齢者)ひまわり、文京暮友会サロン、ふれあいダンスの会、エアロ土筆会、エアロたんぽば、エアロすみれ、あしたば会、ヨーガ菩提樹、茗台さくら会、あけぼの会、まつぼっくり、エアロひまわり、さくら貯筋クラブ (障害者・児)フラワーサロン、おたのしみサロン (子ども・子育て中親子)ラッコの会、ワラビー、小石川あそぶまなぶ、子育てよろづサロン、ままの木、おもちゃ図書館おひさま、子育てママ応援サロン、子どものまちの本棚、Sunny's Café、サロンゆるっと、tanepo、千石こじやり、Mummy and Baby English Fun (どなたでも)えぷろんの会、風のやすみば、ふうせんかずら、せんごくおしゃべりカフェ、たまご食堂、つどいの場風					
	かよい～の	それいゆ、コーチャ千石ふれあいサロン、かよい～の風のやすみば、転ばぬ先のストレッチサロン、文京吹矢人クラブ、ひよりクラブ、のぞみ会、カナリア会、コーチャ千石クラブ					
	サロンぷらす	学習支援なごみ、文京サポート家族会					
	子ども食堂	おもてなし食堂、おたがいさま食堂せんごく					
	その他の資源	富坂こども食堂					
主な取組	富坂地区では、不登校や勉強に遅れがある中学生を対象にした「学習支援なごみ」が平成29年7月から活動がスタートし、社会福祉法人の地域公益活動として特別養護老人ホームの地域交流スペースを活用し、運営面のサポートにも入ってもらっています。また、地域のボランティアによる「おもてなし食堂」は、子どもだけではなくひとり暮らし高齢者等も参加しており、多世代交流の場となっています。						
	白山では、空きスペースを活用した中間的就労の居場所の立上げに向けて、町会、民生委員・児童委員、地域団体、企業とともに検討をスタートしました。						
千石では、「風のやすみば」にて住民同士による支え合い、助け合い活動が行われています。日常会話の中から生活課題を受け止め、今後みまもり体制づくりもしていく予定です。また、空き店舗を活用した多機能な居場所づくりを町会や地域団体、医療施設、企業と連携しながら進めています。							

町会・ 自治会	初音町町会	第二後楽園アパート	久堅町民会
	富坂一丁目町会	春日礫川町会	久堅親交会
	富坂二丁目町会	白山前町町会	久堅西町会
	春日町三丁目町会	原町町会	春日二丁目町会
	表町町会	原町西町会	丸山新町町会
	小石川表町会	東御殿町会	
	柳町町会	白山御殿町睦会	
	柳町中央町会	上御殿町会	
	柳町三和会	林町町会	
	八千代町町会	林町南町会	
	戸崎町町会	丸山町会	
	南戸崎町会	氷川下町会	
	指ヶ谷町会	大原町会	
	白山指ヶ谷町会	宮下町会	
	白山町会	西丸町会	
	京華通り自治会	駕籠町会	
	春日一丁目仲睦会	西原町会	
	春日一丁目大門町会	一般社団法人大和郷会	
	道和町会	文京中央町会	
	後楽町会	久堅自治会	

高齢者クラブ	西原寿クラブ
	丸山延寿会
	春三会
	西丸寿クラブ
	みなづき寿楽会
	文京茶の間クラブ
	白山親老会
	後楽クラブ
	原町クラブ
	氷川下栄寿会
	播磨坂クラブ
	文京区ミドル・シニア倶楽部
	傾聴の会「ぞうの耳」
	もみじ会
	文京グランドゴルフクラブ



大塚地区の現状と取組概要

令和元年10月1日現在

大塚地区	春日	2丁目8番					
	小石川	5丁目5~7番、18~19番					
	水道	1丁目3~10番、2丁目全域					
	小日向	1~3丁目全域、4丁目3~9番					
	大塚	1~2丁目全域、3丁目1~30番、4丁目2番(1~5、15)、3番(1~4、12)、4番(4~12)、5~53番、5~6丁目全域					
	関口	1~3丁目 全域					
	目白台	1~3丁目 全域					
	音羽	1~2丁目 全域					
基礎データ	総人口	50,267人	面 積	2.948km ²			
	高齢者人口	9,559人	高齢化率	19.0%			
	要支援認定者数	412人	要支援認定率	4.0%			
	要介護認定者数	1,203人	要介護認定率	12.5%			
	町会・自治会	34団体 P.63参照	民生委員・児童委員	35人			
	高齢者クラブ	17団体(1,014人) P.63参照					
社会資源	高齢者関連	高齢者あんしん相談センター大塚、高齢者あんしん相談センター大塚分室、特別養護老人ホーム文京くすのきの郷、特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷、文京大塚高齢者在宅サービスセンター、文京くすのき高齢者在宅サービスセンター、老人福祉センター					
	障害者関連	リアン文京、大塚福祉作業所、は～と・ピア、東京カリタスの家みんなの部屋、文京藤の木荘、あんプラス江戸川橋、障害者基幹相談支援センター					
	子ども・青少年関連	子育てひろば江戸川橋、子育てひろば水道、認可保育所22か所、小規模保育園3か所、児童館5か所、育成室8か所					
	その他	大塚地域活動センター、音羽地域活動センター					
	常設の居場所	だんだんひろば					
	ふれあいいきいき サロン (対象別)	(高齢者) エアロさつき会、エアロゆり、メイの会、音羽万華の会、Gr.サクラ、かるたの会、大塚グリーン親睦会、ランチdeおつかまりの会、ばら、ストレッチヨガ、綿子の会、菜の花会、街中談話室、スターヨガ (障害者・児) ユ・リサロン (子ども・子育て中親子) ぬくぬく、ゆる育カフェ、座輪話～みんなが集まる場所～ (どなたでも) きらら、文京あやめカフェ、にんじんクラブ、花鳥の会、サークルひびき、ヴェルディ会、～憩いの杜～オレンジカフェ、なごみ+プラス、いろいろアトリエ、井戸端プレイルーム、音羽カーレットクラブ、なごみカフェ、コントラクトブリッジ・シルバー・ラビッツ、KO MY KO					
	かよい～の	とらいあんぐるタイム、みょうがの会、あすなろ会、ハイビスカス、同友会たんぽぽ					
	サロンぷらす	みちこはうすクラブ、学習支援ボランティア学びの広場					
	子ども食堂	みちこはうすのおにぎり会、子どものいる食堂					
	その他の資源	縁が和、リアン食堂					
主な取組	大塚地区では平成29年10月より「だんだんひろば」がオープンし、子育て世代から高齢者まで様々な世代が集う場となっています。参加者同士の顔の見える関係性ができつつあり、生活と密接に関わるちょっとした困りごとの相談等、課題の早期発見の場となっています。高齢者を対象とした活動では、介護予防に取り組む団体の他に、民生委員・児童委員が主催する昼食会「ランチde大塚」など様々な内容の集いの場が展開されています。						
	また、江戸川橋の地蔵通り商店街にある「みちこはうす」では地域の学びとつながりづくりの場として活動を展開しており、子ども食堂や集う子どもたちのニーズに合わせた活動を展開しています。多様な人が集う場の他にテーマに合わせた場づくりを進めています。						

町会・ 自治会	豊島ヶ岡町会	音羽三和会
	大塚坂下南町会	音羽四丁目町会
	大塚坂下北町会	音羽五丁目町会
	大塚上辻町会	音六町会
	大塚窪町会	音羽七和会
	大塚一・二丁目町会	音八会
	東青柳町会	音羽九桜町会
	小日向台町町会	小日水町会
	第六天町会	古川松ヶ枝町会
	武島町会	関口一丁目南部会
	水道端町会	関水町会
	西江戸川町会	関口町会
	茗荷谷町会	目白台二丁目町会
	大塚仲町町会	関口二・三丁目町会
	大塚四丁目協力会	
	高田老松町会	
	目白台豊川町会	
	目白台雑司ヶ谷町会	
	音一文化会	
	音二町会	
高齢者クラブ	大塚クラブ	
	目白台クラブ	
	ゆたか会	
	さくら会	
	福寿会	
	豊島丘百寿会	
	豊島丘千寿会	
	大塚寿会	
	若葉会	
	若竹会	
	音羽楽友会	
	小日水長寿会	
	関口友和会	
	若菊会	
	らくらく会	
	栄心クラブ	
	関水クラブ	



本富士地区の現状と取組概要

令和元年10月1日現在

本富士地区	白山	1丁目3番、4番、9番、10番、15番		
	本郷	1~7丁目全域		
	湯島	1~4丁目全域		
	西片	1丁目1~18番、20番、2丁目全域		
	向丘	1丁目1~6番、16~20番、2丁目1~10番、11番(1~5)、13番(8~21)		
	弥生	1~2丁目全域		
	根津	1~2丁目全域		
基礎データ	総人口	47,290人	面 積	2.809 km ²
	高齢者人口	9,498人	高齢化率	20.1%
	要支援認定者数	488人	要支援認定率	5.1%
	要介護認定者数	1,295人	要介護認定率	13.6%
	町会・自治会	52団体 P.65参照	民生委員・児童委員	33人
	高齢者クラブ	12団体(745人) P.65参照		
社会資源	高齢者関連	高齢者あんしん相談センター本富士、高齢者あんしん相談センター本富士分室、特別養護老人ホームゆしまの郷、文京湯島高齢者在宅サービスセンター、文京向丘高齢者在宅サービスセンター		
	障害者関連	文京区障害者就労支援センター、ワークショップやまどり、銀杏企画、銀杏企画Ⅱ、銀杏企画三丁目、就労移行支援事業所リバーサル、ソシアル就労移行支援センター湯島、ベジティア、レヴィトレ御茶ノ水、ヒューライフ水道橋キャリアセンター、リドアーズ・ベネファイお茶の水、教育センター、御茶ノ水発達センター、ひよこ教室、畠中子ども研究所		
	子ども・青少年関連	子育て広場西片、b-lab(ビーラボ)、認可保育所19か所、小規模保育園3か所、児童館3か所、育成室8か所		
	その他	区民センター、湯島地域活動センター、向丘地域活動センター、根津地域活動センター		
	常設の居場所	コミュニティカフェひまわりママ、こそだて応援まちぶら		
	ふれあいいきいきサロン (対象別)	(高齢者)仲よし会サロン、麻雀さーくる本郷、「歩く達人」友の会、エアロ「つつじ会」、サークル・ドリーム、根津ひまわりサロン、弥生リズム、ゆうゆう、湯島おしゃべり会、文京サーブ・コール、追分サロン (障害者・児)いきいきサロンかとれあ (子ども・子育て中親子)こばとくらぶ、ひよこくらぶ、手ぬぐい子どもふく ちくちく、ゆったり島キッズ (どなたでも)湯うゆうの会、kohya-ren、みんなのサロン、吹矢向丘、ほっこり広場		
	かよい～の	コミュニティカフェひまわりママ、向丘クラブ、文京クラブ、湯島元気体操会、文京ノルディックウォーク友の会、つつじクラブ		
主な取組	サロンぶらす	ぶんたきっず にほんごくらぶ、文京MCA家族のひろば		
	子ども食堂	湯うむすび会		
	その他の資源	シエル・ブルー、ミモザの庭		
<p>本富士地区では、地域課題解決を目指して様々な取組が生まれています。町会による高齢者のみまもりや交流を目的として「追分サロン」という活動が始まりました。また、外国にルーツをもつ子どものための学習支援の場「ぶんたきっずにほんごくらぶ」もできました。特別養護老人ホームの空いている場所を活用した体操サロン「湯うゆうの会」や、大学による地域交流スペース「まちラボ」がオープンし、そこで学生と一緒に食を通じた交流サロン「ほっこり広場」などサロン活動も増えてきています。かよい～のとして「文京ノルディックウォーク友の会」「向丘クラブ」「文京クラブ」でポールウォークやカーレットなど新スポーツでの介護予防が盛んです。また、こそだて応援まちぶらは、3歳までの親子を対象に、安心して遊べ、情報交換や交流ができる場所です。保育士資格をもつスタッフがおり、育児などの相談も可能です。多世代交流や地域とのつながりづくりも大切にしています。</p> <p>コミュニティカフェひまわりママでは、介護予防の活動に取り組んでいますが、今後、気軽に専門職に相談できるような居場所づくりへとさらに活動が広がるよう地域の方々や専門職と連携・協議をしながら進めていくところです。</p>				

町会・ 自治会	春日町一・二丁目春睦会	中真砂町会	向丘追分東部町会
	本郷一丁目アパート自治会	田町町会	地縁法人西片町会
	湯島一丁目町会	菊坂町会	丸山福山町町会
	湯島会	菊和会	向丘一丁目中町会
	新花会	本郷五丁目台町町会	東大農学部前自治会
	三組町会	本郷五丁目町会	根津宮永町会
	妻恋会	赤門前町会	根津八重垣町会
	湯島三丁目梅光会	本富士町会	藍染町会
	本郷三丁目南部会	天梅会	根津片町町会
	本郷三丁目金助町会	三組弥生会	根津宮本町会
	春木会	天一町会	向ヶ岡弥生町会
	元二親和会	天二町会	弥生一丁目町会
	本郷弓一町会	天三町会	
	本郷二丁目元一會	同朋町会	
	本郷二丁目弓二會	湯島切通町会	
	本郷二・三丁目町会	湯島北町会	
	本一町会	竜岡会	
	本郷同四會	両門町会	
	上真砂町会	森川町会	
	下真砂町会	向丘追分町会	

高齢者クラブ	根津寿クラブ
	長福会
	壱岐坂長生クラブ
	元町長寿会
	下真砂クラブ
	湯島ひまわり会
	新花寿クラブ
	本郷金寿会
	菊寿会
	森川クラブ
	田町みのり会
	湯島ライフの会



駒込地区の現状と取組概要

令和元年10月1日現在

駒 込 地 区	白山	1丁目23~29番		
	向丘	1丁目7~15番、2丁目11番(6~14)、12番、13番(1~7)、14~39番		
	千駄木	1~5丁目全域		
	本駒込	1丁目全域、2丁目1~8番、9番(1~6、18~33)、12~28番、3~5丁目全域、6丁目13~25番		
基礎 デ ータ	総人口	50,339人	面 積	2.234km ²
	高齢者人口	10,413人	高齢化率	20.7%
	要支援認定者数	425人	要支援認定率	4.0%
	要介護認定者数	1,439人	要介護認定率	13.8%
	町会・自治会	24団体 P.67参照	民生委員・児童委員	34人
	高齢者クラブ	16団体(974人) P.67参照		
社会資源 場 づ く り の 取 組	高齢者関連	高齢者あんしん相談センター駒込、高齢者あんしん相談センター駒込分室、特別養護老人ホーム文京千駄木の郷、文京昭和高齢者在宅サービスセンター、文京千駄木高齢者在宅サービスセンター		
	障害者関連	エナジーハウス、本郷福祉センター(若駒の里)、だんござかハウス、放課後等デイサービスJOY、放課後等デイサービスカリタス翼、ティ・リーフ		
	子ども・青少年関連	子育てひろば汐見、認可保育所13か所、小規模保育所2か所、家庭的保育事業2か所、児童館4か所、育成室9か所		
	その他	駒込地域活動センター、汐見地域活動センター、保健サービスセンター本郷支所		
	常設の居場所	こまじいのうち、こまびよのおうち		
	ふれあいいきいきサロン (対象別)	(高齢者)明るく元気になろう会、いきいき健康クラブ、エアロさくら、檸檬の会、エンジョイ・せんだぎ、かよう教室、あやめ会、いきいき体操汐見、ハッピーマンボ、吹矢楽的、いきいき体操本駒込、はづき、エアロモンステラ、本駒カーレットクラブ、コスモス (子ども・子育て中親子)ぱびぶ☆ベビー、ハッピーマザーズ (どなたでも)六七八会、あっふっふ、おしゃべりカフェ、仲よし太極拳クラブ、「食・人」ほっとサロン、ガチャガチャバンド、レコード日より、ながやがや、みんなのアルバム、こまじいカーレット、キーベースのしごと部屋		
	かよい～の	みんなの体操、しのばず、だれでもテニス汐見、MEGUMI会、昭和体操火曜グループ、文京ボッチャの会、いきいき体操千駄木		
	子ども食堂	こまじいこども食堂、こまざキッチン、定泉寺こども食堂、坂下おかえりごはん、動坂ごはん		
	その他の資源	ほおづきの会、談話室プロジェクト		
	駒込地区は、神社仏閣の「祭事」や「下町まつり」など、まつりを通して、下町らしい交流がある地域です。しかし、近年「住民の入れ替わりにより交流が減ってきている」という声も出ています。そこで駒込地区では、区内で増え始めている、多機能な居場所での多世代交流や学習支援等の活発な住民活動に加え、地域の居場所にまだ参加することができていない・かかわることができていない住民とのつながりづくりのため、町会単位での訪問型のみまもり活動も始まりました。これらのみまもり活動は、多機能な居場所と連携しており、居場所型と訪問型の両方の活動が展開され始めています。			
主 な 取 組	こまじいのうちは、駒込地区町会連合会が主催で、ボランティア団体や地域の様々な団体が協力して運営している居場所づくりの取組です。こまじいのうちが地域活動の拠点になり、子ども食堂やサロンが立上がり、訪問型の活動にも発展しています。また、隣には子育て支援拠点「こまびよのおうち」も開設され、より多世代の住民とつながることのできる活動拠点になっています。さらに、近年増えている子ども食堂も団体同士が連絡を取り合ったり、食材を分け合うなど、団体同士の連携も広がっています。			

町会・ 自治会	肴町町会	上動五三会
	白山上自治会	動坂中町会
	丸山新町会	動坂町会
	蓬萊町会	富士前町会
	向丘一丁目上町会	神明町会
	千駄木二丁目東町会	神明上町会
	千駄木二丁目西町会	神明西部町会
	上千駄木町会	本駒自治会
	千駄木東林町会	
	千駄木西林町会	
	千駄木三丁目南部町会	
	千駄木三丁目北町会	
	吉片町会	
	浅嘉町会	
	曙町会	
	上富士町会	

高齢者クラブ	文京蓬萊友の会
	駒込白菊会
	文京第一クラブ
	千登世会
	西千さくら会
	動坂長寿会
	浅嘉長寿クラブ
	寿同志会
	富士前福寿会
	宮元白寿会
	上千みどり会
	肴町寿会
	千駄木西寿会
	寿神明クラブ
	和乃会
	味わいクラブ

